



1.1

- [Cisco Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [リリース 1.1 の新機能 \(1 ページ\)](#)
- [リリース 1.1 の機能強化 \(3 ページ\)](#)
- [問題 \(4 ページ\)](#)

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャネルエンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融、エンタープライズワークスペースなど、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco Spaces は、ビジネス向けの情報を提供し、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- Cisco Spaces と統合された複数のアプリを使用しているお客様向けに、Cisco Spaces へのアクセスを自動プロビジョニングします。
- 行動メトリクスレポートの業界、国、州、および支店のベンチマーク。
- ネットワークロケーションの地理的詳細の表示。
- Cisco Spaces ダッシュボードの Operational Insights、Location SDK、BLE Manager などの統合アプリへの自動ログインのプロビジョニング。
- [Team] オプションの新しい Cisco Spaces ユーザーロール、インストーラ。
- パスワード更新通知を送信できるようにするためのプロビジョニング。

リリース 1.1 の新機能

Cisco Spaces ダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

Cisco Spaces への自動プロビジョニングアクセス

お客様が Cisco Spaces に統合された複数のアプリにアクセスしている場合、そのお客様は Cisco Spaces ダッシュボードへのアクセスが自動プロビジョニングされます。このようなお客様は、所有するアプリに使用されているのと同じログイン情報を使用して、Cisco Spaces ダッシュボードにログインできます。

Cisco Spaces と統合されているアプリは次のとおりです。

- Operation Insights
- BLE Manager
- ロケーション分析
- ロケーション SDK
- 検出と位置特定

これらのアプリの内の1つにしかアクセスできない場合、そのアプリのログイン情報を使用して Cisco Spaces にログインしようとする、その特定のアプリのダッシュボードにリダイレクトされます。

行動メトリクスのベンチマーク

[Behavior Metrics] オプションで、レポートに業界、国、州、ブランドのベンチマークを表示できるようになりました。ロケーションのメタデータを定義することにより、国、州、およびブランドのベンチマークの下のロケーションにタグ付けできます。

[Industry Benchmark] : 企業が属する業界の平均値を表示します。たとえば、小売業の場合、訪問時間の分布グラフには、小売業の平均訪問時間が表示されます。業界ベンチマークの平均値は、Cisco Spaces をインストールした他のクライアントから取得したデータに限定されています。

[Country Benchmark] : 特定の国でタグ付けされたロケーションの平均値を表示します。たとえば、タグとして「米国」を選択すると、平均訪問時間グラフには米国に対応するバーが表示されます。これは、米国でタグ付けされたすべてのロケーションの平均訪問時間です。国タグに関連付けられたロケーションの総数も表示されます。特定の国のタグの下にあるロケーションが他のタグに関連付けられている場合、平均訪問時間などの一部のグラフでは、そのタグの平均値も表示されます。

[State Benchmark] : 特定の州でタグ付けされたロケーションの平均値を表示します。[state] タグを選択すると、一部のレポートでは2つのバーが追加でグラフに表示されます。1つは州名と共に平均値を表示し、もう1つは州内のロケーションの総数と平均値を表示します。たとえば、平均訪問時間のグラフなどです。

[Brand Benchmark] : ブランド名の平均値を表示します。ブランド名は、特定の州のロケーションのメタデータとしてのみ使用できます。ブランドを選択すると、平均訪問時間などの一部のグラフでは、ブランドがタグ付けされている州の平均値も表示されます。



- (注)
- 国、州、ブランドのベンチマークは、特定の顧客のデータに基づいて表示されます。
 - ブランドのレポートをフィルタリングする場合、そのブランドに関連付けられていない州名をフィルタリングしないでください。
 - 2つのブランドのレポートを同時にフィルタリングしないでください。

ネットワークロケーションの地理的位置

ネットワークロケーションについては、国、州、都市、住所など、そのロケーションの地理的な詳細が Cisco Spaces ダッシュボードに表示されるようになりました。地理的な場所の詳細は、ネットワークの同期中に取得されます。最初の AP の地理的な詳細は、ネットワークロケーションとして考慮されます。

[Location Hierarchy] ウィンドウのネットワークロケーションの [More Actions] メニューで、[Locations Info] オプションをクリックすると、そのネットワークロケーションの地理ロケーションの詳細が表示されます。この情報は、ネットワークレベルにおけるロケーションについてのみ表示されます。



- (注) これは、Cisco Meraki で Cisco Spaces を使用している場合にのみ適用されます。

リリース 1.1 の機能強化

Cisco Spaces ダッシュボードに次の変更が加えられました。

アプリへの自動ログイン

Cisco Spaces では、Cisco Spaces ダッシュボードで使用可能な次のアプリへの自動ログインに対応するようになりました。

- Operation Insights
- ロケーション SDK
- 検出と位置特定

インストーラ ロール

新しい Cisco Spaces のユーザーロールであるインストーラが、[Team] オプションで利用できるようになりました。

このロールのユーザーは、次の Cisco Spaces の基本機能にのみアクセスできます。

- 設定
- SSID
- コネクタ
- 無線ネットワーク
- 行動メトリクス

パスワードの有効期限切れの通知

Cisco Spaces では、パスワードの有効期限を顧客に通知するように機能強化されました。Cisco Spaces ダッシュボードにログインすると、パスワードの有効期限が 10 日先の場合、パスワードが期限切れになることを示すダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスには、[Change Password] ボタンと [Do it later] ボタンが含まれています。[Change Password] ボタンをクリックすると、[Change Password] ウィンドウにリダイレクトされます。パスワードを変更するには、古いパスワードと新しいパスワードを入力する必要があります。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a～z）、N は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

シスコバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の問題：リリース 1.1

表 1: 未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCvo19097	ロケーションがロケーション階層から削除または変更された場合、訪問者数、訪問回数、およびロケーションの更新数における変更は、[Digitization Stats] セクションでは更新されません。ロケーション名とロケーション数は [Right Now] レポートでも更新されません。たとえば、[Right Now] レポートに表示される上位の場所が影響を受けます。
CSCvo05264	<p>次の2つのウィンドウにリストされているネットワークタイプは一致しておらず、混乱を招く可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Spaces ダッシュボードで、[Location Hierarchy] を選択し、ルートロケーションの [More Actions] アイコンをクリックして、[Add a Wireless Network] をクリックします。表示される [Add a Wireless Network] ウィンドウで、ネットワークの種類が [Add a Wireless Network] ドロップダウンリストに表示されます。 • Cisco Spaces ダッシュボードで、[Setup] > [Wireless Networks] を選択し、[Get Started] ボタンをクリックしてから、ルートロケーションの右端にあるアイコンをクリックします。ネットワークの種類は、[Network Setup] ウィンドウに一覧表示されます。 <p>理想的には、ネットワークタイプはウィンドウ全体で一意である必要があります。</p>
CSCvo19301	[Wireless Network] ウィンドウの [Deployment Prerequisites] 領域で、さまざまなワイヤレスネットワークの指示へのリンクが正しく配置されています。
CSCvo00172	<p>ロケーション階層に新しく追加されたロケーションは、[Digitization Stats] セクションですぐには更新されません。そのため、[Location Hierarchy] ウィンドウと [Digitization Status] セクションのロケーションカウントが一致しません。</p> <p>同様に、AP の場合もカウントが一致しません。</p>

解決済みの問題：リリース 1.1

表 2: 解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCvp11522	<p>Cisco Spaces のユーザーインターフェイスには、次の変更が加えられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべての製品において DNA Spaces を Cisco Spaces に名前変更しました。 • Cisco Spaces のユーザー招待メール <ul style="list-style-type: none"> • [About DNA Spaces] リンクを削除しました。 • [Product Updates] リンクを削除しました。 • 著作権年を更新しました。 • ログインページ <ul style="list-style-type: none"> • [Product Updates] リンクを削除しました。 • [Learn More] リンクを更新しました。 • ホームページ <ul style="list-style-type: none"> • [Active APs] ウィンドウの [Close] ボタンを削除しました。 • BLE Manager と検出と位置特定アプリのステータスを [Beta] に変更しました。 • エンゲージメントアプリ <ul style="list-style-type: none"> • [Via Cisco Webex Team] から [Via Cisco Webex Teams] に名前が変更されました。 • チーム (Team) <p>現在 Cisco Spaces でサポートされていない次のユーザーロールが削除されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Portal Designer • Location Manager • アクセスコードマネージャ • レポートニングアナリスト

問題識別子	問題の説明
CSCvo49148	<p>Cisco Spaces では、アカウント管理者がどのような場合でも電子メール ID を指定してアカウントをアクティブ化できるようになりました。以前は、電子メール ID は大文字と小文字が区別され、別の大文字と小文字のいずれかの文字が言及されている場合、アクティブ化することができませんでした。</p> <p>また、Cisco Spaces ユーザーは、いつでも電子メール ID を指定してアカウントをアクティブ化できるようになりました。以前は、ユーザーを招待するためにアカウント管理者によって指定された電子メール ID は大文字と小文字が区別され、電子メール ID のいずれかの文字が別の大文字と小文字で言及されている場合、招待されたユーザーはアカウントをアクティブ化できませんでした。</p>
CSCvo09309	<p>行動メトリクスレポートの WiFi 採用 セクションでは、SSID でクリックされたとインターネットプロビジョニング済みのカウントが同じ場合、概要セクションのラインバーが直線のバーとして表示されます。</p>
CSCvo31524	<p>Meraki のロケーションが Meraki API キーを使用してインポートされている場合、SSID をインポートした後、SSID の [Delete] ボタンが表示されませんでした。現在、そのような SSID に対して [Delete] ボタンが表示されています。</p>
CSCvo22915	<p>Cisco Spaces に追加された Cisco Spaces コネクタの名前を編集できるようになりました。以前は、[Edit] オプションで Cisco Spaces コネクタの名前を編集できませんでした。</p>
CSCvo59773	<p>[Wireless Networks] ウィンドウの [Deployment Prerequisites] の Cisco Spaces コネクタの設定手順で、OVA リンクが期待どおりに機能していませんでした。これで、リンクは適切な Web ページにリダイレクトされます。</p>

問題識別子	問題の説明
CSCvp18798	<p>Cisco Spaces には、ナビゲーションに関する次の問題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Team] ウィンドウで [Refresh] ボタンをクリックすると、カーソルは回転し続けますが、[Team] ウィンドウは表示されません。 • Cisco Spaces ダッシュボードから次のいずれかのアプリにアクセスし、前のウィンドウに移動すると、予期したウィンドウが表示されません。 <ul style="list-style-type: none"> • Operation Insights • BLE Manager • ロケーション分析 • ロケーション SDK • 検出と位置特定 <p>これでこれらのナビゲーションの問題は解決されました</p>
Cisco Spaces ランタイム	
CSCvo97772	[Inline No Authentication] キャプティブポータルを編集して [Data Capture] フォームを追加した場合、既に認証を完了しているリピートユーザーは、キャプティブポータルをロードした後に先に進むことができませんでした。これで、新規ユーザーとリピートユーザーの両方が、データキャプチャフォームを表示するためにさらに進むことができます。
CSCvp13861	Cisco Spaces は、Internet Explorer 11.0 のキャプティブポータル認証をサポートするようになりました。以前は、ブラウザが Internet Explorer 11.0 の場合、キャプティブポータル認証は行われませんでした。
CSCvn82672	Cisco Spaces ログインに無効なログイン情報を入力した後、正しい入力情報を使用してログインしようとする、ログインできず、「Session Expired」というメッセージが表示されます。
CSCvo17285	Cisco Meraki の場合、[Wireless Network Status] ウィンドウで、ロケーションがロケーションロゴの近くに表示されるように左揃えされていません。
CSCvo18918	[Digitization Stats] セクションでは、訪問者の数、ロケーションの更新、訪問数が小数で表示されます。たとえば、96.0399999999 です。これは、合計カウントが 1000 未満の場合に発生します。
CSCvo17280	Cisco Meraki の場合、[Wireless Network Status] ウィンドウで、あるロケーションの [Expand-Collapse] ボタンをクリックした後、別のネットワークタブに移動してウィンドウに戻ると、[Expand-Collapse] ボタンは展開された状態で表示されますが、ロケーションは表示されません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。